

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表【フィーダー平成23年度】

平成 24 年 5 月 31 日

九州 運輸 局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
1	糸島市コミュニティバス協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	福岡昭和タクシー(株)	白糸線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。</p> <p>○ 広報・啓発活動は、地域住民の認知度合いをまず把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に立ち、生活の一部として公共交通機関の利用を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p>	
			福岡昭和タクシー(株)	雷山線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	曽根線(波多江経由)の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	曽根線(有田経由)の運行	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	井原山線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	川原線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	前原今宿線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	九大線(波多江経由)の運行	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	九大線(泊・油比経由)の運行	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。		
			福岡昭和タクシー(株)	庁舎線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。運賃の見直しも併せて検討を行う。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
2	朝倉市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	ひまわりタクシー(有)	あいのりタクシー黒川 線の運行	A	A	山間部で少子高齢化や過疎化が進行し ている集落を有した事業であるが、まず は制度定着に向け地元コミュニティとの 定期的な協議の場を設け、利用促進を 図る。	○ 事業は適切に実施され、交通空白地 解消の目標は達成されたと認められ る。 ○ 各路線の経営状況について具体的 な数字で示すことで、今後の方針を地 域とともに考える環境を作ることが望ま しい。 ○ また、利用者の視点に立ち、公共交 通機関を利用するようになるという生活 習慣の変化を促す取組みを精査の上、 役割分担を明確化しつつ地域一体とし て実施されることが望ましい。	
			朝倉市	あいのりスクールバス 高木地域(佐田コース) の運行	A	A			
			朝倉市	あいのりスクールバス 高木地域(黒川コース) の運行	A	A			
3	那珂川町地域公共交 通活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	西鉄バス二日市(株)	通勤「かわせみ」 西畑線の運行	A	A	高齢化率の高い中山間地の住宅地へ バスを運行させたが、自家用車の利用 が多い状況である。今後、地域区長を 通じ、住民へバス利用の啓発に努め、 利用促進を図っていく。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施 され、採算性及び利用者数について目 標は達成されたと認められる。 ○ 公共交通の利用促進のためには、 時刻表等の基本的な情報の提供は当 然ながら、客観的なデータを利用者に 示しながら、「乗らないと廃止になる」 という危機感、「乗って残す」という意識付 けを行っていくことが望ましい。	
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」西畑線の運 行	A	A			
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」南面里線の 運行	A	A			
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」南畑線の運 行	A	A			
4	大牟田市バス交通対 策協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	西鉄バス大牟田(株)	西鉄バス大牟田営業所 ～黒崎団地間の運行	A	A	目標は達成しているものの、利用者は 減少傾向にあるため、今後も更なる利 用促進に取組む。 目標は達成しているものの、利用者は 減少傾向にあるため、今後も更なる利 用促進に取組む。 目標は達成しているものの、利用者は 減少傾向にあるため、今後も更なる利 用促進に取組む。	○ 事業は適切に実施され、収支率の目 標は達成されたと認められる。 ○ 広報・啓発活動は、地域住民の認知 度合いをまず把握し、その結果を踏まえ 利用者の視点に立ち、生活の一部とし て公共交通機関の利用を促すような情 報を精査の上で提供されることが望まし い。 ○ バス利用者の目的地となる施設、乗 り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用 者の利便性の向上を図る取組みを、当 該路線の関係をを超えて実施していく ことが望ましい。	
			西鉄バス大牟田(株)	大牟田駅～黒崎団地間 の運行	A	A			
			西鉄バス大牟田(株)	新栄町～黒崎団地間の 運行	A	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
5	対馬市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	厳原タクシー(有) (有)北厳原タクシー 対州タクシー(有) ホテル対馬(株)	椎根～厳原間予約制乗 合タクシーの運行	A	B	更なる住民サービス向上に努め、利用 者の増加を図るとともに、収支率の向上 を図るため、料金の改定も検討してい く。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施 されていると認められる。また、目標の 達成に向け引き続き地域が一体となっ て取り組んでいただきたい。 ○ 生活交通の維持には、地域を巻き込 んだ取組みが重要であり、地域公共交 通に取り組むに当たっては、関係者が 連携・協働し、地域で支える公共交通、 マイバス意識を醸成しながら取組みを 進めることが望ましい。	
6	新上五島町交通ネット ワーク促進協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	西肥自動車(株)	有川～浜串間の運行	A	A	各バス停に分かりやすいダイヤ掲示を 留置きし、情報提供を充実させる。	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施 され、利用者数の目標は達成されたと 認められる。 ○ 目標を設定するに当たっては、地域 公共交通を導入する主目的も念頭に置 きながら、目標を検討することが望まし い。 ○ また、公共交通の利用促進のため には、時刻表等の基本的な情報の提供は 当然ながら、客観的なデータを利用者 に示しながら、「乗らないと廃止になる」 という危機感、「乗って残す」という意識 付けを行っていくことが望ましい。	
7	天草市公共交通連携 協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	(株)産交バス	本渡循環線(北廻り)の 運行	A	A	利便性向上の為の情報充実に努力して いる	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施 され、利用者数の目標は達成されたと 認められる。 ○ 公共交通の利用促進のためには、 時刻表等の基本的な情報の提供は当 然ながら、客観的なデータを利用者に 示しながら、「乗らないと廃止になる」 という危機感、「乗って残す」という意識 付けを行っていくことが望ましい。 ○ また、目標を設定するに当たって は、地域公共交通を導入する主目的も 念頭に置きながら、目標を検討される ことが望ましい。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
8	佐伯市地域公共交通 確保維持改善協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	佐伯市	黒沢・岸河内線(船形～ トキハインダストリー)の 運行	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増を図るため、運行地域の 住民への利用促進のためのPR(周知文 書の配布等)を積極的に行い、利用者 数の増を図る。 また、大分バスとの連携を密にし、乗 り継ぎの円滑化による利便性の向上を 図る。 	<p>○ 自己評価のとおり事業は適切に実施 され、平均利用率の目標は達成された と認められる。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するた めの難易度に差があるような設定をしな いようにする観点から現行の目標を検証 されることが望ましい。</p> <p>○ また、各路線の経営状況について具 体的な数字で示すことで、今後の方針 を地域とともに考える環境を作ることが 望ましい。 また、利用者の視点に立ち、公共交通 機関を利用するようになるという生活習 慣の変化を促す取組みを精査の上、役 割分担を明確化しつつ地域一体として 実施されることが望ましい。</p>	
			佐伯市	大入島線(大入島フェ リー～荒網代東)の運 行	A	A			
			佐伯市	床木線(道の駅やよい ～久保)の運行	A	A			
			佐伯市	切畑線(道の駅やよい ～直見駅)の運行	A	A			
			佐伯市	大間線(道の駅やよい ～尺間登山口)の運行	A	A			
			佐伯市	山梨子線(道の駅やよ い～本匠振興局)の運 行	A	A			
			佐伯市	腰越線(腰越～うめタウ ン)の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線(うめタウン～腰 越)の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線(うめタウン～元 山部)の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線(福祉センター～ 元山部)の運行	A	A			
			佐伯市	風戸線(福祉センター～ 風戸白谷入口)の運行	A	A			
			佐伯市	小川線(福祉センター～ 小川岩屋)の運行	A	A			
佐伯市	檜峰線(檜峰～うめタウ ン)の運行	A	A						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
8	佐伯市地域公共交通 確保維持改善協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	佐伯市	檜峰線(うめタウン～檜 峰)の運行	A	A	同上	同上	
			佐伯市	檜峰線(うめタウン～檜 峰)の運行	A	A			
			佐伯市	檜峰線(福祉センター～ 檜峰)の運行	A	A			
			佐伯市	三股線(福祉センター～ 直見駅)の運行	A	A			
			佐伯市	蔵小野線(椎谷～うめタ ウン)の運行	A	A			
			佐伯市	河内線(神田～うめタウ ン)の運行	A	A			
			佐伯市	河尻線(宇目振興局～ うめタウン)の運行	A	A			
			佐伯市	塩見線(塩見公民館前 ～うめタウン)の運行	A	A			
			佐伯市	上津小野線(大ノ田～う めタウン)の運行	A	A			
			佐伯市	上仲江線(菅～うめタウ ン)の運行	A	A			
			佐伯市	直川線(吹原～直川振 興局前)の運行	A	A			
			佐伯市	西山線(払鳥屋～うめタ ウン)の運行	A	A			
佐伯市	落水線(上落水～うめタ ウン)の運行	A	A						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
8	佐伯市地域公共交通 確保維持改善協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	佐伯市	柳瀬線(柳瀬～うめタウ ン)の運行	A	A	同上	同上	
			佐伯市	水ヶ谷線(水ヶ谷～うめ タウン)の運行	A	A			
			佐伯市	宗太郎線(宗太郎～う めタウン)の運行	A	A			
			佐伯市	藤河内線(藤河内～う めタウン)の運行	A	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
9	九重町地域交通協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	九重町	小平谷線(平谷～九重町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施され、収支率の目標も一定程度達成されたと認められる。 ○ 事業実施に当たっては、住民のニーズを適切に吸い上げ、当該事業の必要性について地域の関係者間で十分に検討を行うとともに、採算面・持続性も考えて、利用者ニーズも含めて総合的に判断すること。 ○ 公共交通の利用促進のためには、時刻表等の基本的な情報の提供は当然ながら、客観的なデータを利用者に示しながら、「乗らないと廃止になる」という危機感、「乗って残す」という意識付けを行っていくこと。	
			九重町	寺床線(寺床～九重町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
			九重町	うるが線(うるが～九重町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
			九重町	小園線(小園～九重町役場)の運行	A	C	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
10	日田市地域公共交通確保維持協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	日田バス(株)	ひたはしり号Aコース (日田～玉川～中ノ島～竹田新町～日田)の運行	A	B	乗客数が増加していることから、引き続き周知事業と利用者アンケートを行い、委託事業者と連携したキャンペーン等の開催を検討する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されたと認められる。また、目標の乗客数は下回ったものの増加傾向であることから関係者の取組み効果が現れてきているものと認められる。 ○ 観光地との連携 停留所から観光地へのアクセス等、自家用車等と比較しつつバス利用の障壁となりえる事項を精査の上で適切な取組みを実施されることが望ましい。 ○ また、生活交通の維持には、地域を巻き込んだ取組みが重要であり、地域公共交通に取り組むに当たっては、関係者が連携・協働し、地域で支える公共交通、マイバス意識を醸成しながら取組みを進められたい。	
			日田バス(株)	ひたはしり号Bコース (日田～城内団地～市役所前～日田)の運行	A	B	乗客数が増加していることから、引き続き周知事業と利用者アンケートを行い、委託事業者と連携したキャンペーン等の開催を検討する。		
			日田バス(株)	ひたはしり号Cコース (日田～玉川～石井～誠和町～日田)の運行	A	B	乗客数が増加していることから、引き続き周知事業と利用者アンケートを行い、委託事業者と連携したキャンペーン等の開催を検討する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
11	小林市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	小林市	上九瀬線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。また、単に、事業全体のデータを示すのみならず、路線ごとなど、きめ細かく詳細なデータで分析されることが望ましい(例:路線ごとの経費や乗車密度、利用状況等)。</p> <p>○ 単純に統計データ等の数値を比較するのみならず、背景にある事情や当該事業の置かれている状況も考慮した上で分析されることが望ましい。</p>	
			小林市	鷗野循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	岡原循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	種畜牧場循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	南ヶ丘線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	千歳線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	運動公園循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	深草循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	コミュニティバスの運行 大出水循環線	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	三松循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
小林市	上原循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
12	日向市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	日向市	東1コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。 ○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。	
			日向市	東2-1コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		
			日向市	東2-2コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		
			日向市	西1コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		
			日向市	西2コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
12	日向市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	日向市	南1コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。	同上	
			日向市	南2コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		
			日向市	北1コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		
			日向市	北2コースの運行	A	B	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルート変更を行い、更なる利用促進を図る。 目標は、1日当たりの利用者数でなく、利用者の増加率、対前々年比3%程度が望ましい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
13	薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統)	南国交通(株)	祁答院～川内駅の運行	A	B	利用者へ上手く利用することにより、安価で利便性の良いことを周知する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。 ○ 各路線の経営状況について具体的な数字で示すことで、今後の方針を地域とともに考える環境を作ることが望ましい。 また、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを精査の上、役割分担を明確化しつつ地域一体として実施されることが望ましい。 ○ 生活交通の維持には、地域を巻き込んだ取組みが重要であり、地域公共交通に取り組むに当たっては、関係者が連携・協働し、地域で支える公共交通、マイバス意識を醸成しながら取組みを進められたい。	
			いわさきバスネットワーク(株)	祁答院～川内駅の運行	A	B			
			いわさきバスネットワーク(株)	蘭牟田～川内駅の運行	A	B			
			(有)入来タクシー	内之尾～入来温泉場の運行	A	C	各地域に利用説明に向き、利用促進を促す。 また、シャトルバスとのフィーダーにより利便性を周知する。		
			(有)入来タクシー	小豆迫～入来温泉場の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	蘭牟田～入来温泉場の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	入来温泉場～入来温泉場の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	八重～入来温泉場の運行	A	C			
(有)入来タクシー	八重～市比野の運行	A	C						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
14	霧島市地域公共交通 会議	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	南国交通(株)	有川線の運行	A	B	引き続き、バス利用促進のために、バス 情報の周知を図り、フィーダー系統と して、路線バス、鉄道などの他の公共交 通との連携(乗継改善)に取り組む。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施 されていると認められる。また、目標の 達成に向け引き続き地域が一体となっ て取り組んでいただきたい。 ○ 目標の設定において、達成するた めの難易度に差があるような設定をしな いようにする観点から現行の目標を検証 されることが望ましい。単に、事業全体 のデータを示すのみならず、路線ごと など、きめ細かく詳細なデータで分析す ること(例:路線ごとの経費や乗車密度、 利用状況等)。また、単純に統計データ 等の数値を比較するのみならず、背景 にある事情や当該事業の置かれている 状況も考慮した上で分析されることが望 ましい。 ○ 事業実施に当たっては、住民のニー ズを適切に吸い上げ、当該事業の必要 性について地域の関係者間で十分に検 討を行うと共に、採算面・持続性も考え て、利用者ニーズも含めて総合的に判 断されることが望ましい。 ○ 情報提供は、地域住民の認知度合 いをまず把握し、その結果を踏まえ利 用者の視点に立ち、生活の一部として公 共交通機関の利用を促すような情報を 精査の上で提供されることが望ましい。	
			南国交通(株)	竹子三縄線の運行	A	A			
			南国交通(株)	麓線の運行	A	A			
			南国交通(株)	空港崎森線の運行	A	B			
			南国交通(株)	竹子・有川・空港線の運 行	A	C			
			南国交通(株)	崎森・麓・空港線の運行	A	C			
			大隅交通ネットワ ーク(株)	福沢線の運行	A	B	引き続き、バス利用促進のために、バス 情報の周知を図り、フィーダー系統と して、路線バス、鉄道などの他の公共交 通との連携(乗継改善)に取り組む。		
			大隅交通ネットワ ーク(株)	福地・池之谷線の運行	A	A			
			大隅交通ネットワ ーク(株)	福山線の運行	A	B			
			大隅交通ネットワ ーク(株)	比曾木野線の運行	A	A			
			大隅交通ネットワ ーク(株)	佳例川線の運行	A	B			
			大隅交通ネットワ ーク(株)	福地線(スクール対応) の運行	A	B			
大隅交通ネットワ ーク(株)	福沢線(スクール対応) の運行	A	A						
いわさきバスネット ワーク(株)	霧島牧園線の運行	A	B	霧島高校の生徒募集時に通学対応バ スの周知を図り、利用促進に取り組む。					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
15	鹿児島市公共交通不 便地対策協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	鹿児島交通㈱	谷山地域の運行	A	A	地元から要望のあった木屋宇都地区の 高尾方面ルートについて、平成24年4月 1日から新設することとしている。(バス 停3ヶ所新設)	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施 され、利用者数の目標は達成されたと 認められる。 ○ バス利用者の目的地となる施設、乗 り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用 者の利便性の向上を図る取組みを、当 該路線の関係者を超えて実施していこ うと望ましい。	
			鹿児島交通㈱	喜入地域の運行	A	A	運行ルート上に本市の公共施設が設置 される予定であり、施設開設(平成24年 11月予定)に合わせバス停を新設した いと考えている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表【フィーダー平成24年度】

平成24年5月31日
九州運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
1	糸島市コミュニティバス 協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維持 事業 (地域内フィーダー系 統)	福岡昭和タクシー(株)	白糸線の運行	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 情報提供は、地域住民の認知度合いをまず把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に立ち、生活の一部として公共交通機関の利用を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。</p> <p>○ 運行サービス内容を見直す場合は、既存の利用者の利便を確保して逸走を抑制することが重要であることから、便ごとの利用状況を踏まえて対応されることが望ましい。</p> <p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警等の関係者との連携を深め、利用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。</p>	
			福岡昭和タクシー(株)	雷山線の運行	A	C			
			福岡昭和タクシー(株)	曾根線(波多江経由)の運行	A	B			
			福岡昭和タクシー(株)	曾根線(有田経由)の運行	A	B			
			福岡昭和タクシー(株)	井原山線の運行	A	C			
			福岡昭和タクシー(株)	川原線の運行	A	C			
			福岡昭和タクシー(株)	前原今宿線の運行	A	C			
			福岡昭和タクシー(株)	九大線(波多江経由)の運行	A	B			
			福岡昭和タクシー(株)	九大線(泊・油比経由)の運行	A	C			
			福岡昭和タクシー(株)	庁舎線の運行	A	C			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
2	朝倉市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	ひまわりタクシー(有)	あいのりタクシー黒川 線の運行	A	A	山間部で少子・高齢化や過疎化が進行 している集落を有した事業であるが、ま ずは制度定着に向け利用者数の維持 を図り、拡大に向け地元コミュニティとの 定期的な協議の場を設け利用促進を図 る。	○ 自己評価のとおり、事業は適切に実施さ れ、交通空白地解消の目標は達成された。 ○ 各路線の経営状況について具体的な数字 で示すことで、今後の方針を地域とともに考 える環境を作ることが望ましい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地 域住民の認知度合いをまず把握することが望 ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立 ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の上 で提供されることが望ましい。	
			朝倉市	あいのりスクールバス 高木地域(佐田コー ス) の運行	A	A	山間部で少子・高齢化や過疎化が進行 している集落を有した事業であるが、ま ずは制度定着に向け利用者数の維持 を図り、拡大に向け地元コミュニティとの 定期的な協議の場を設け利用促進を図 る。		
			朝倉市	あいのりスクールバス 高木地域(黒川コー ス) の運行	A	A	山間部で少子・高齢化や過疎化が進行 している集落を有した事業であるが、ま ずは制度定着に向け利用者数の維持 を図り、拡大に向け地元コミュニティとの 定期的な協議の場を設け利用促進を図 る。		
3	柳川市地域公共交通協 議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	柳川市	大和みなみ線の運行	A	C	引き続き運行のPRに努めるとともに、 使いやすさが増すようにルート・ダイヤ の改善を進める。	○ 自己評価の通り適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただ きたい。 ○ 運行サービス内容を見直す場合は、既存の 利用者の利便を確保して逸走を抑制すること が重要であることから、便ごとの利用状況を踏 まえて対応されることが望ましい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警 等の関係者との連携を深め、利用しやすい運 行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となる よう配慮されることが望ましい。	
			柳川市	大和きた線の運行	A	C	引き続き運行のPRに努めるとともに、 使いやすさが増すようにルート・ダイヤ の改善を進める。		
			柳川市	三橋線の運行	A	C	引き続き運行のPRに努めるとともに、 使いやすさが増すようにルート・ダイヤ の改善を進める。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
4	久山町地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	西鉄バス宗像株	山田・久原コースの運 行	A	A	イコバスのPRをさらに積極的に実施す るとともに、子どもを中心としたファミ リ向けの会員制度の導入等により、 利用促進に努める。 また、新宮町との接続を検討し、高校生 の通学利用や新設のIKEAへの買い物 利用等、広域的展開・交流にも寄与でき るようにする。	<p>○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、 収支率の目標は達成されたと認められる。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握すること が望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視 点に立ち、公共交通機関を利用するよ うになるという生活習慣の変化を促すよ うな情報を精査の上で提供されることが 望ましい。</p> <p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や 県警等の関係者との連携を深め、利用し やすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしや すい接続となるよう配慮されることが望 ましい。</p> <p>○ バス利用者の目的地となる施設、乗 り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用者 の利便性の向上を図る取組みを、当該 路線の関係者を超えて実施していくこと が望ましい。</p>	
5	鞍手町地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	MGタクシー(株) (有)中山タクシー	古門線の運行	A	C	利用者登録をした163人の中から50人 に対し実態調査を実施した。その結果 や事業者からのヒアリングを実施した上 で、①路線を延長し乗り継ぎをなくす、 ②できる限り直前まで予約を可能にし る、③すまいるバスの延長を前提に廃 止を検討する、④利用促進のため、周 知等を徹底する、などについて活性化 協議会において協議を行い改善する。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施され たと認められる。また、目標の達成に向 け引き続き地域が一体となって取り組ん でいただきたい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握すること が望ましい。その結果を踏まえ、利用者の 視点に立ち、公共交通機関を利用するよ うになるという生活習慣の変化を促すよ うな情報を精査の上で提供されることが 望ましい。</p> <p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や 県警等の関係者との連携を深め、利用し やすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしや すい接続となるよう配慮されることが望 ましい。</p>	
			MGタクシー(株) (有)中山タクシー	長谷線の運行	A	C			
			MGタクシー(株) (有)中山タクシー	泉水線の運行	A	C			
			誠心物流(株)	まちなか線の運行	A	C	若年者層と高齢者層を対象(720人)に 利用者アンケートを実施した。その結果 や事業者からのヒアリングを行った上 で、①路線を変更し中心地域以外の地 域を運行する、②均一料金や新たな割 引など利用しやすい運賃体系に変更す る、③利用促進のため、周知等を徹底 する、などについて活性化協議会にお いて協議を行い改善する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
6	那珂川町地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	西鉄バス二日市(株)	通勤「かわせみ」 西畑線の運行	A	A	高齢化率の高い中山間地の住宅地へ バスを運行させたが、自家用車の利用 が多い状況である。今後、地域区長と 共に住民へバス利用の啓発方法につ いて検討し、利用促進を図っていく。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施され、 採算性及び利用者数について目標は達成され たと認められる。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握すること が望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視 点に立ち、公共交通機関を利用するよう になるという生活習慣の変化を促すよう な情報を精査の上で提供されることが望 ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や 県警等の関係者との連携を深め、利用し やすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしや すい接続となるよう配慮されることが望 ましい。 ○ ダイヤ編成、乗務員手配など運行管理 の知見を積極的に活用するとともに、新 たな路線の導入に拘泥せず、路線バス 等の既存のリソースを積極活用して、地 域におけるトータル負担の削減等効率 的な運営に努められることが望ましい。	
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」西畑線の 運行	A	A			
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」南面里線 の運行	A	A			
			西鉄バス二日市(株)	「かわせみ」南畑線の 運行	A	A			
7	大牟田市バス交通対策 協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	西鉄バス大牟田(株)	西鉄バス大牟田営業 所～黒崎団地間の運 行	A	A	目標は達成しているものの、利用者は 減少傾向にあるため、今後も更なる利 用促進に取り組む。	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、 収支率の目標は達成されたと認められる。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握すること が望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視 点に立ち、公共交通機関を利用するよう になるという生活習慣の変化を促すよう な情報を精査の上で提供されることが望 ましい。 ○ バス利用者の目的地となる施設、乗り 継ぎ先の交通機関等と連携し、利用者の 利便性の向上を図る取組みを、当該路 線の関係者を超えて実施していくことが 望ましい。	
			西鉄バス大牟田(株)	大牟田駅～黒崎団地 間の運行	A	A			
			西鉄バス大牟田(株)	新栄町～黒崎団地間 の運行	A	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
8	対馬市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	厳原タクシー(有) (有)北厳原タクシー 対州タクシー(有) ホテル対馬(株)	椎根～厳原間予約制 乗合タクシーの運行	A	B	更なる住民サービス向上に努め、利用 者の増加を図るとともに、収支率の向上 を図るため、料金の改定も検討してい く。	<p>○ 自己評価の通り適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただ きたい。</p> <p>○ 路線の経営状況について具体的な数字で 示すことで、今後の方針を地域とともに考える 環境を作ることが望ましい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。</p>	
9	新上五島町交通ネット ワーク促進協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	西肥自動車(株)	有川～浜串間の運行	A	A	各バス停に分かりやすいダイヤ掲示を 留置きし、情報提供を充実させる。	<p>○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、 利用者数の目標は達成されたと認められる。</p> <p>○ 目標を設定するに当たっては、地域公共交 通を導入する主目的も念頭に置きながら、目 標を検討することが望ましい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。</p>	
			西肥自動車(株)	浜串～有川間の運行	A	A	各バス停に分かりやすいダイヤ掲示を 留置きし、情報提供を充実させる。	<p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。</p>	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
10	天草市公共交通連携協 議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業 (地域内フィーダー系 統)	(株)産交バス	本渡循環線(北廻り) の運行	B	A	利便性向上の為の情報充実に努力して いる	<p>○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、利用者数の目標は達成されたと認められる。</p> <p>○ また、目標を設定するに当たっては、地域公共交通を導入する主目的も念頭に置きながら、目標を検討されることが望ましい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p>	
11	南阿蘇村公共交通連携 協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	くさむらタクシー 阿蘇観光タクシー	地獄・垂玉線の運行	A	B	目標の年間利用者数3,000人は達成で きる目標数値。そのために利用者が落 ち込む時期の利用策が必要。また、地 域住民の利用増に向けた取組も必要。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p> <p>○ バス利用者の目的地となる施設、乗り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用者の利便性の向上を図る取組みを、当該路線の関係者を超えて実施していくことが望ましい。</p>	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
12	水俣市地域公共交通会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	(株)産交バス	水俣駅・葛彩館線の 運行	A	A	今後も必要に応じて運行内容の見直し の検討を行い、利便性の向上を図るとと もに、市内の公共交通全路線を掲載し た時刻表を全戸配布するなど、利用促 進に向けて取り組む方針。	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、 利用者数の目標は達成されたと認められる。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握すること が望ましい。その結果を踏まえ、利用者 の視点に立ち、公共交通機関を利用す るようになるという生活習慣の変化を 促すような情報を精査の上で提供され ることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元 や県警等の関係者との連携を深め、利 用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎ をしやすい接続となるよう配慮され ることが望ましい。	
			(株)産交バス	水俣駅・大川線の運 行	A	A			
			(株)産交バス	流合橋経由 招川内・ 茂道線の運行	A	A			
			(株)産交バス	頭石経由 招川内・茂 道線の運行	A	A			
			(株)産交バス	・木臼野経由 水俣市 役所・水俣駅線の運 行	A	A			
			(株)産交バス	・水俣市役所・木臼野 線の運行	A	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
13	長洲・荒尾地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	(有)長洲タクシー	長洲町予約型乗合タ クシー	A	A	H23年10月より運行を開始し、運行当 初としては順調に推移している。当初の 目標もクリアする見込みであることか ら、まずは、現状の運行状況を維持する ことを目標とする。	○ 自己評価の通り適切に事業が実施されて いると認められる。 ○ 目標について、地域の負担、利用者の受忍 状況の面から地域で納得が得られるかとの観 点から現行の目標を検証されることが望まし い。	
14	阿蘇市公共交通会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	(資)りんどうタクシー 内牧タクシー(有) (有)阿蘇エースタ クシー	内牧～赤水線の運行	A	A	予想を上回る利用があり、これまで特に 苦情、要望もない。これまで通りの運行 を行う。	○ 自己評価の通り適切に事業が実施されて いると認められる。 ○ 目標について、地域の負担、利用者の受忍 状況の面から地域で納得が得られるかとの観 点から現行の目標を検証されることが望まし い。	

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
15	佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)	佐伯市	黒沢・岸河内線の運行	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増を図るため、運行地域の住民への利用促進のためのPR(周知文書の配布等)を積極的に行い、利用者数の増を図る。 また、大分バスとの連携を密にし、乗り継ぎの円滑化による利便性の向上を図る。 	<p>○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、平均利用率の目標は達成されたと認められる。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。</p> <p>○ また、各路線の経営状況について具体的な数字で示すことで、今後の方針を地域とともに考える環境を作ることが望ましい。</p>	
			佐伯市	大入島線の運行	A	A			
			佐伯市	床木線の運行	A	A			
			佐伯市	切畑線の運行	A	A			
			佐伯市	大間線の運行	A	A			
			佐伯市	山梨子線の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線1の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線2の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線3の運行	A	A			
			佐伯市	腰越線4の運行	A	A			
			佐伯市	風戸線の運行	A	A			
			佐伯市	小川線の運行	A	A			
			佐伯市	檜峰線1の運行	A	A			
			佐伯市	檜峰線2の運行	A	A			
			佐伯市	檜峰線3の運行	A	A			
佐伯市	檜峰線4の運行	A	A						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
15	佐伯市地域公共交通確 保維持改善協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	佐伯市	三股線の運行	A	A	同上	同上	
			佐伯市	蔵小野線の運行	A	A			
			佐伯市	河内線の運行	A	A			
			佐伯市	河尻線の運行	A	A			
			佐伯市	塩見線の運行	A	A			
			佐伯市	上津小野線の運行	A	A			
			佐伯市	上仲江線の運行	A	A			
			佐伯市	直川線の運行	A	A			
			佐伯市	西山線の運行	A	A			
			佐伯市	落水線の運行	A	A			
			佐伯市	柳瀬線の運行	A	A			
			佐伯市	水ヶ谷線の運行	A	A			
			佐伯市	宗太郎線の運行	A	A			
			佐伯市	藤河内線の運行	A	A			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
16	九重町地域交通協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	九重町	小平谷線(小平谷～ 九重町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されたと認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。 ○ 事業実施に当たっては、住民のニーズを適切に吸い上げ、当該事業の必要性について地域の関係者間で十分に検討を行うこと。また、採算面・持続性も考えて、利用者ニーズも含めて総合的に判断することが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警等の関係者との連携を深め、利用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
			九重町	寺床線(寺床～九重 町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
			九重町	うるが線(うるが～九 重町役場)の運行	A	A	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
			九重町	小園線(小園～九重 町役場)の運行	A	C	H25年度から統合中学が開校するにあたり、スクールバスの運行が開始されるため、併せて総合的な運行の見直しを行う。		
17	日田市地域公共交通確保維持協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	日田バス(株)	ひたはしり号Aコース (日田～玉川～中ノ島 ～竹田新町～日田) の運行	A	B	引き続き乗客数は増加傾向にあるため、周知事業と、利用者アンケートを続け、委託事業者や沿線の企業と連携したキャンペーン等の開催を検討する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されたと認められる。また、目標の乗客数は下回ったものの増加傾向であることから関係者の取組効果が現れてきているものと認められる。 ○ 観光地との連携 停留所から観光地へのアクセス等、自家用車等と比較しつつバス利用の障壁となりえる事項を精査の上で適切な取組みを実施されることが望ましい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
			日田バス(株)	ひたはしり号Bコース (日田～城内団地～ 市役所前～日田)の 運行	A	A	引き続き乗客数は増加傾向にあるため、周知事業と、利用者アンケートを続け、委託事業者や沿線の企業と連携したキャンペーン等の開催を検討する。		
			日田バス(株)	ひたはしり号Cコース (日田～玉川～石井 ～誠和町～日田)の 運行	A	B	引き続き乗客数は増加傾向にあるため、周知事業と、利用者アンケートを続け、委託事業者や沿線の企業と連携したキャンペーン等の開催を検討する。		
			日田バス(株)	ひたはしり号Dコース (日田～豆田町～朝 日町～清岸寺町～城 町～日田)の運行	B	A	引き続き乗客数は増加傾向にあるため、周知事業と、利用者アンケートを続け、委託事業者や沿線の企業と連携したキャンペーン等の開催を検討する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
18	杵築市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	杵築国東合同タク シー(株)	北杵築コースの運行	A	A	乗合を目標としているので、1便当 たりの平均乗車率2人以上を指 すとともに、事業の周知・利用 の促進啓発に努めたい。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け 引き続き地域が一体となって取り組んで いただきたい。</p> <p>○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握する ことが望ましい。その結果を踏まえ、利 用者の視点に立ち、公共交通機関を利 用するようになるという生活習慣の 変化を促すような情報を精査の上で 提供されることが望ましい。</p> <p>○ 情報提供は、地域住民の認知度 合いをまず把握し、その結果を踏まえ 利用者の視点に立ち、生活の一部とし て公共交通機関の利用を促すような 情報を精査の上で提供されることが 望ましい。</p>	
			三光タクシー(有)	八坂コースの運行	A	B	乗合を目標としているので、1便当 たりの平均乗車率1.5人以上を指 すとともに、稼働率や利用者数が 低いので、事業の周知・利用の 促進啓発に努めたい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
19	豊後大野市地域公共交 通活性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	豊後大野市	小坂・入北線の運行	A	B	<p>コミュニティバスの運行開始に向け、市内全戸への時刻表の配布、ケーブルテレビでの告知など運行についての広報を行ってきたが、まだ十分に浸透していないと思われる。</p> <p>目標を達成するためには、今後もコミュニティバスの運行について周知を図っていく必要があり、市報やケーブルテレビ等を活用し広報を続けていく。</p> <p>広報については、主となる目的地である病院や大型店舗などの事業者とも連携を図っていく。</p> <p>また、バス停管理コンテストを開催し、マイバス意識の向上を図ると同時に、コミュニティバスについての情報発信を行う。</p> <p>バス停や車内への時刻表・運行ルート の掲示については、掲示する内容を含めて検討し、改善を図っていく。</p>	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。</p> <p>○ 地域公共交通の検討に当たっては、商業施設等の立地状況などのまちづくりの視点や、当該地域の観光資源、福祉も意識した上で交通体系のあり方を検討するなど、公共交通以外の多様な分野や、交通事業者以外の多様な主体とも必要に応じて連携しつつ、地域が一体となった取組みを行うことが望ましい。</p> <p>○ 事業全体のデータを示すのみならず、路線ごとなど、きめ細かく詳細なデータで分析すること。また、単純に統計データ等の数値を比較するのみならず、背景にある事情や当該事業の置かれている状況も考慮した上で分析することが望ましい。</p> <p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警等の関係者との連携を深め、利用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。</p>	
			豊後大野市	山田線の運行	A	B			
			豊後大野市	内田線の運行	A	B			
			豊後大野市	菅尾線の運行	A	B			
			豊後大野市	牧原・広戸線の運行	A	B			
			豊後大野市	高津原線の運行	A	B			
			豊後大野市	西寒田線の運行	A	B			
			豊後大野市	宇津尾木線の運行	A	B			
			豊後大野市	下山・前田線の運行	A	B			
			豊後大野市	高柴線の運行	A	B			
			豊後大野市	船田線の運行	A	B			
			豊後大野市	長峰・日向久保線の運行	A	B			
			豊後大野市	石田・大高線の運行	A	B			
			豊後大野市	高津原線の運行	A	B			
豊後大野市	川辺・向野線の運行	A	B						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
20	小林市地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダースystem)	小林市	上九瀬線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 目標の設定において、達成するための難易度に差があるような設定をしないようにする観点から現行の目標を検証されることが望ましい。また、単に、事業全体のデータを示すのみならず、路線ごとなど、きめ細かく詳細なデータで分析することが望ましい。</p> <p>○ 地域公共交通の検討に当たっては、商業施設等の立地状況などのまちづくりの視点や、当該地域の観光資源、福祉も意識した上で交通体系のあり方を検討するなど、公共交通以外の多様な分野や、交通事業者以外の多様な主体とも必要に応じて連携しつつ、地域が一体となった取り組みを行うことが望ましい。</p> <p>○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警等の関係者との連携を深め、利用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。</p>	
			小林市	鷗野循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	岡原循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	種畜牧場循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	南ヶ丘線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	千歳線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	運動公園循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	深草循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	大出水循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
			小林市	三松循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。		
小林市	上原循環線の運行	A	B	運行ダイヤ及び路線を地域住民との意見を交えながら協議会で協議し、利便性の向上に努める。					

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
21	日向市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	日向市	東1コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。 ○ 地域公共交通の検討に当たっては、商業施設等の立地状況などのまちづくりの視点や、当該地域の観光資源、福祉も意識した上で交通体系のあり方を検討するなど、公共交通以外の多様な分野や、交通事業者以外の多様な主体とも必要に応じて連携しつつ、地域が一体となった取組みを行うことが望ましい。 ○ バス利用者の目的地となる施設、乗り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用者の利便性の向上を図る取組みを、当該路線の関係者を超えて実施していくことが望ましい。	
			日向市	東2-1コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		
			日向市	東2-2コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		
			日向市	西1コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		
			日向市	西2コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
21	日向市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	日向市	南1コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。	同上	
			日向市	南2コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		
			日向市	北1コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		
			日向市	北2コースの運行	A	C	市民やバス運転手からの意見を参考として、平成24年4月からルートとダイヤ変更を行い、更なる利用促進を図ることとした。 目標は、収支率ではなく利用者の増加率、対前々年比3%程度のみが望ましい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
21	日向市地域公共交通活 性化協議会	陸上交通に係る地域 公共交通確保維持事 業(地域内フィーダー 系統)	日向市	田野羽坂線コースの 運行	A	B	広報等を活用したPR等を通じて、更なる利用促進を図る。目標は、対前々年比2%程度が望ましい。	<p>○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 地域公共交通の検討に当たっては、商業施設等の立地状況などのまちづくりの視点や、当該地域の観光資源、福祉も意識した上で交通体系のあり方を検討するなど、公共交通以外の多様な分野や、交通事業者以外の多様な主体とも必要に応じて連携しつつ、地域が一体となった取り組みを行うことが望ましい。</p> <p>○ バス利用者の目的地となる施設、乗り継ぎ先の交通機関等と連携し、利用者の利便性の向上を図る取組みを、当該路線の関係者を超えて実施していくことが望ましい。</p> <p>○ 情報提供は、地域住民の認知度合いをまず把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に立ち、生活の一部として公共交通機関の利用を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。</p>	
			日向市	仲深坪谷越表線コースの 運行	A	B	広報等を活用したPR等を通じて、更なる利用促進を図る。目標は、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	福瀬小野田線コースの 運行	A	B	広報等を活用したPR等を通じて、更なる利用促進を図る。目標は、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	仲深坪谷線コースの 運行	A	B	広報等を活用したPR等を通じて、更なる利用促進を図る。目標は、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	鶴野内迫野内八重原 線コースの運行	A	B	広報等を活用したPR等を通じて、更なる利用促進を図る。目標は、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	寺迫庭田線コースの 運行	A	A	継続的な目標としては、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	飯谷田の原線コース の運行	A	A	継続的な目標としては、対前々年比2%程度が望ましい。		
			日向市	鵜毛靱木線コースの 運行	A	A	継続的な目標としては、対前々年比2%程度が望ましい。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
22	薩摩川内市地域公共交 通活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	南国交通(株)	祁答院～川内駅の運 行	A	B	利用者へ上手く利用することにより、安 価で利便性の良いことを周知する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただ きたい。 ○ 各路線の経営状況について具体的な数字 で示すことで、今後の方針を地域とともに考え る環境を作ることが望ましい。 ○ 地域公共交通の検討に当たっては、商業 施設等の立地状況などのまちづくりの視点や、 当該地域の観光資源、福祉も意識した上で交 通体系のあり方を検討するなど、公共交通以 外の多様な分野や、交通事業者以外の多様な 主体とも必要に応じて連携しつつ、地域が一 体となった取組みを行うことが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。 ○ 目標の設定において、達成するための難易 度に差があるような設定をしないようにする観 点から現行の目標を検証されることが望まし い。 ○ 情報提供は、地域住民の認知度合いをま ず把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に 立ち、生活の一部として公共交通機関の利用 を促すような情報を精査の上で提供されること が望ましい。	
			いわさきバスネット ワーク(株)	祁答院～川内駅の運 行	A	B			
			いわさきバスネット ワーク(株)	蘭牟田～川内駅の運 行	A	B			
			(有)入来タクシー	内之尾～入来温泉場 の運行	A	C	各地域に利用説明に出向き、利用促進 を促す。 また、シャトルバスとのフィーダーにより 利便性を周知する。		
			(有)入来タクシー	小豆迫～入来温泉場 の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	蘭牟田～入来温泉場 の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	入来温泉場～入来温 泉場の運行	A	C			
			(有)入来タクシー	八重～入来温泉場の 運行	A	A			
			(有)入来タクシー	八重～市比野の運行	A	A	利用方法の周知(時刻表の配布等)で更 に利用者増を図る。		
			南国交通(株)	西方・湯田循環線(西 回り)の運行	A	A			
			南国交通(株)	西方・湯田循環線(東 回り)の運行	A	A			
			南国交通(株)	城上・吉川循環線(西 回り)の運行	A	B			
			南国交通(株)	城上・吉川循環線(東 回り)の運行	A	B			

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
23	霧島市地域公共交通会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	南国交通(株)	有川線の運行	A	B	引き続き、バス利用促進のために、バス 情報の周知を図り、フィーダー系統とし て、路線バス、鉄道などの他の公共交 通との連携(乗継改善)に取り組む。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただき たい。 ○ 目標の設定において、達成するための難易 度に差があるような設定をしないようにする観 点から現行の目標を検証されることが望まし い。単に、事業全体のデータを示すのみなら ず、路線ごとなど、きめ細かく詳細なデータで 分析すること(例:路線ごとの経費や乗車密 度、利用状況等)。また、単純に統計データ等 の数値を比較するのみならず、背景にある事 情や当該事業の置かれている状況も考慮した 上で分析されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。 ○ 情報提供は、地域住民の認知度合いをま ず把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に 立ち、生活の一部として公共交通機関の利用 を促すような情報を精査の上で提供されること が望ましい。	
			南国交通(株)	竹子三縄線の運行	A	A			
			南国交通(株)	麓線の運行	A	A			
			南国交通(株)	空港崎森線の運行	A	A			
			南国交通(株)	竹子・有川・空港線の 運行	A	C			
			南国交通(株)	崎森・麓・空港線の運 行	A	C			
			大隅交通ネットワー ク(株)	福沢線の運行	A	B	引き続き、バス利用促進のために、バス 情報の周知を図り、フィーダー系統とし て、路線バス、鉄道などの他の公共交 通との連携(乗継改善)に取り組む。		
			大隅交通ネットワー ク(株)	福地・池之谷線の運 行	A	A			
			大隅交通ネットワー ク(株)	福山線の運行	A	C			
			大隅交通ネットワー ク(株)	比曾木野線の運行	A	B			
			大隅交通ネットワー ク(株)	佳例川線の運行	A	B			
			大隅交通ネットワー ク(株)	福地線(スクール対 応)の運行	A	B			
大隅交通ネットワー ク(株)	福沢線(スクール対 応)の運行	A	A						

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
23	霧島市地域公共交通会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	三州自動車(株)	福沢線の運行	A	B	引き続き、バス利用促進のために、バス 情報の周知を図り、フィーダー系統とし て、路線バス、鉄道などの他の公共交 通との連携(乗継改善)に取り組む。	同上	
			三州自動車(株)	福地・池之谷線の運 行	A	A			
			三州自動車(株)	福山線の運行	A	B			
			三州自動車(株)	比曾木野線の運行	A	B			
			三州自動車(株)	佳例川線の運行	A	B			
			三州自動車(株)	福地線(スクール対 応)の運行	A	B			
			三州自動車(株)	福沢線(スクール対 応)の運行	A	A			
			いわさきバスネット ワーク(株)	霧島牧園線の運行	A	B	霧島高校の生徒募集時に通学対応バ スの周知を図り、利用促進に取り組む。		
24	鹿児島市公共交通不便 地対策協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	鹿児島交通	谷山地域の運行	A	B	地元から要望のあった木屋宇都地区の 高尾方面ルートについて、平成24年4月 1日から新設することとしている。(バス 停3ヶ所新設)	○ 自己評価のとおり事業は適切に実施され、 利用者数の目標は達成されたと認められる。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。	
			鹿児島交通	喜入地域の運行	A	A	運行ルート上に本市の公共施設を設置 予定としており、開設(平成24年11月予 定)に合わせバス停を新設したいと考えて いる。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
25	伊佐市地域公共交通活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系 統)	(有)永山タクシー	曾木バス停～川西地区の運行	A	A	現在の利用状況を維持する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されていると認められる。また、目標の達成に向け引き続き地域が一体となって取り組んでいただきたい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、地域住民の認知度合いをまず把握することが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県警等の関係者との連携を深め、利用しやすい運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続となるよう配慮されることが望ましい。	
			(有)永山タクシー	針持バス停～西山地区の運行	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。		
			(有)永山タクシー	針持バス停～高塚地区の運行	A	B	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。		
			(有)永山タクシー	針持バス停～田原地区の運行	A	B	入り込み部分のルートを新設し、利用者の増加を図る。		
			下小菌タクシー	菱刈中心地～荒田地区の運行	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。		
			下小菌タクシー	菱刈中心地～永池楠原地区の運行	A	A	現在の利用状況を維持する。		
			下小菌タクシー	菱刈中心地～荒田地区の運行	A	A	現在の利用状況を維持する。		
			下小菌タクシー	菱刈中心地～田中重留地区の運行	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。		
			下小菌タクシー	菱刈中心地～市山花北地区の運行	A	A	現在の利用状況を維持する。		
			伊佐交通観光(株)	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	A	C	便数の増加など改善を図り、利用者の増加を図る。		
			伊佐交通観光(株)	菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	A	C	便数の増加など改善を図り、利用者の増加を図る。		
			伊佐交通観光(株)	菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	A	B	便数の増加など改善を図り、利用者の増加を図る。		
			伊佐交通観光(株)	菱刈中心地～下手地区の運行	A	A	現在の利用状況を維持する。		

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考	
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果		
26	さつま町地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	(有)鶴田タクシー	大俣線(大俣公民館 前～ 鶴田支所)の運行	A	B	利用方法等の周知の徹底や利便性の 向上を図り利用拡大に努める。 また、利用者並びに運行事業者との意 見交換を増やす。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただき たい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。		
			(有)鶴田タクシー	上下大迫線(大野酒 店前～鶴田支所)の 運行	A	B				
			(有)鶴田タクシー	上場大平線(上場公 民館前～鶴田支所) の運行	A	B				
			(有)神園タクシー	下湯田線(湯田下宮 農研修館前～鶴田支 所)の運行	A	C				
			(株)宮都タクシー	佐志NT線(田原公民 館前～宮之城駅)の 運行	A	B				
27	西之表市地域公共交通 活性化協議会	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	はやしタクシー	柳原線、立山線、古田 線の運行	B	C	複数台の運行を可能とし、乗降場所を 1ヶ所追加した。今後は、ニーズ調査を 行うとともに、粘り強い周知活動を実施 して、利便性の高い運行体系にする必 要がある。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただき たい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。		
			(有)市丸タクシー	国上線、住吉線の運 行	A	C				複数台の運行を可能とし、乗降場所を 1ヶ所追加した。今後は、ニーズ調査を 行うとともに、粘り強い周知活動を実施 して、利便性の高い運行体系にする必 要がある。
			種子島・屋久島交通 (株)	市街地の運行	A	C				利用者が少ない原因を追求するととも に、周知活動を行う必要がある。

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効 果達成状 況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
28	いちき串木野市地域公 共交通会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	第一交通(株)	大里線・川上線の運 行	A	C	具体的な利用法の周知PRに努め、利 用者数の増加を図ると共に、平成24年3 月に実施したアンケート結果を元に増 便や停留所の整備を検討する。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただ きたい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。 ○ 運行計画の策定に当たっては、地元や県 警等の関係者との連携を深め、利用しやすい 運行時刻、便数、乗り継ぎをしやすい接続とな るよう配慮されることが望ましい。	
			いわさきバスネット ワーク(株)	冠岳線の運行	A	C	目標収支率を平成23年度12月末時点 のいきいきバス収支率7.2%に変更する。 利用促進策として、路線の周知PR及 び利用実態のさらなる把握に努め、ダイ アの変更等を検討する。		
			いわさきバスネット ワーク(株)	芹ヶ野線の運行	A	C	目標収支率を平成23年度12月末時点 のいきいきバス収支率7.2%に変更する。 利用促進策として、路線の周知PR及 び利用実態のさらなる把握に努め、ダイ アの変更等を検討する。		
29	日置市地域公共交通会 議	陸上交通に係る 地域公共交通確保維 持事業 (地域内フィーダー系 統)	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー (有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	11路線(伊集院6路 線・吹上5路線)の運 行	A	B	事業者との連絡会で利用者の声を聞き 改善等を図る。また、高齢者にとっては 必要不可欠な移動手段であり、広報誌 等により情報提供を充実させる。	○ 自己評価のとおり適切に事業が実施されて いると認められる。また、目標の達成に向け引 き続き地域が一体となって取り組んでいただ きたい。 ○ 地域公共交通の利用促進に当たっては、 地域住民の認知度合いをまず把握することが 望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に 立ち、公共交通機関を利用するようになるとい う生活習慣の変化を促すような情報を精査の 上で提供されることが望ましい。	